

『<犠牲者>のポリティクス』 『消されたマッコリ。』

合評シンポジウム



高誠晩(2016)『<犠牲者>のポリティクス』が刊行された。本書は済州島4.3事件を中心に沖縄戦や台湾2.28事件にも触れながら、国家による大量死の「犠牲者」が国家によって認定されるポリティクスに迫る。伊地知紀子(2015)『消されたマッコリ。』を併せ読むことで、韓国併合以来の済州島と日本において朝鮮人の置かれた状況、そしてその生活史が明らかとなろう。

14:00~15:45 『<犠牲者>のポリティクス』

解題：高誠晩（立命館大学）

評者：木下昭（立命館大学ほか）

外村大（東京大学）

16:00~17:35 『消されたマッコリ。』

解題：伊地知紀子（大阪市立大学）

評者：金泰植（済州大学校）

橋本みゆき（立教大学ほか）

17:35~18:00 総合討論

司会進行：李洪章（神戸学院大学）

* 懇親会（18:30~20:30）



日時：7月15日(土) 14:00~18:00

場所：上智大学四谷キャンパス2号館4階408室

参加：無料・要申し込み

（下記のメールアドレスにご連絡ください）

科学研究費補助金・基盤研究(A)

「二〇世紀東アジアをめぐる人の移動の総合的研究」

上智大学 総合グローバル学部 蘭研究室

連絡先：kaken25245060@gmail.com